



水路に田舟を浮かべ、草刈りをする子どもたち＝鳴門市大津町段関

レンコン元気に育て

## 水路泥上げ40人が汗

レンコンの生育環境をよくしようと、自然再生型農業プロジェクト「えんたのれんこん2010」に参加している約40人が25日、鳴門市大津町段関のハス田の脇にある水路の泥上げをした。

レンコンは2カ月ほど前にみんなで種付けをした。本来は水田の泥上げや藻切りをするのが、今回は水路の維持管理をしてきた栽培農家の手法に従い、水路の泥をすくい上げた。道具も伝統の「どまじょうれん」を使った。参加者は重い泥に足を取られ、泥まみれになっていた。

昔使っていた木製の田舟を

浮かべて草刈りもした。長い竹ざおで舟を操るも、同じ場所でも回転するだけでうまく進まない。何とかアシの生えている所へたどり着き、鎌で刈ったと思ったら今度は舟が浸水し、みんなへとへとに。作業が終わると、仕掛けていた定置網の引き上げ。大きなタイワンドジョウがかかっていた。

このプロジェクトは、植え付けから収穫までの農業を体験でき、生き物観察なども楽しめる。参加希望者は「えんたのれんこん推進会議事務局」(0888・6566・9132)へ。(長谷川大彦)